

各関係機関団体の長
各病虫害防除員
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

チャバネアオカメムシの防除について

本年の発生量は前年よりやや多、前々年並と予想されますが、ヒノキの球果量はやや少であることから、チャバネアオカメムシが早い時期（7月）から果樹園に飛来する可能性があります。

飛来時期と飛来量は園地によって差がありますので、各々の園をよく見回り、飛来が多く認められたら防除の徹底を指導願います。

技術情報

- 1 作物名 果樹全般（カンキツ、ナシ、カキ等）
- 2 病虫害名 チャバネアオカメムシ
- 3 越冬量、ヒノキ球果量及び予察灯の調査結果
 - （1）ヒノキ球果量は、6月1～2半旬調査では県下27地点でやや少であった（表）。
 - （2）1㎡当たり越冬量は、県平均で1.3頭（前年0.5頭、前々年1.1頭）と前々年並である（表）。（詳細は平成21年2月24日付「速報第3号」参照）
 - （3）6月1半旬までの予察灯の誘殺虫数は前年並であった（表）。
- 4 防除上注意すべき事項
 - （1）飛来時期や飛来量は園地によって差があるので、例年飛来が多い場所では園内外をこまめに見回り、飛来が多く認められたら防除を行う。
 - （2）最新の果樹カメムシ類の発生状況については、病虫害防除所ホームページを参照する。
 - （3）農薬散布に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。

表 チャバネアオカメムシの年次別発生概要とヒノキの球果量及びナシの被害果率

年次	越冬量 ^(注1) (頭/㎡)	ヒノキの 球果量	発生型	誘殺量 ^(注2)		被害果率(%) (注4)
				前期	後期	
10	0.5	やや少	後期	1,849	15,460	0.5
11	0.6	やや多	"	721	7,619	0
12	1.3	少	前期	5,094	1,938	0.9
13	0.1	多	後期	45	15,515	0
14	4.6	中	前期	13,119	6,301	3.3
15	0.3	やや多	後期	114	1,480	0.3
16	4.7	極少	前期	56,607	13,199	7.6
17	0.1	多	後期	33	1,626	0.2
18	1.8	やや多	"	2,458	6,116	0.6
19	1.1	極少	"	387	655	0.1
20	0.5	やや多	"	235	5,864	0
21	1.3	やや少	-	(注3)99	-	-
平年						1.3

(注1) 越冬量は県内平均値

(注2) 誘殺量は県下6か所の予察灯における平均誘殺頭数

前期：4～7月，後期：8～10月

(注3) 平成21年の誘殺量は4月～6月1半旬の集計

(注4) 被害果率はナシ予察調査ほ場における8月2半旬のデータ